



野の花と風薫る郷から...

'95 OCTOBER

PUBLIC INFORMATION

広報

たかもり 10

No. 434

THE NEWSPAPER OF TAKAMORI TOWN

平成7年10月5日発行



紅白に分かれて、堂々の入場行進



雨かな？晴れかな？ 佐藤校長先生が振り出すサイコロ（天気が出てある）の結果で勝負が決まる1年生の技巧走

秋の風物詩 運動会

それ 走れ！

9月に入り、夏の猛暑から一気に秋の深まりを感じるようになりました。秋といえば町内各学校で運動会が行われるシーズン。9月17日、高森小学校（佐藤昭也校長 児童数337名）でも運動会が行われ、元気のいい子どもたちの歓声が上がっていました。

高森町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いっぱいの住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切に、子供の夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



Children's Corner

わたしたちの作品

高森東中学校



1年生

矢津田直樹さん

高森東小学校



〔森先生から〕

新しくできた高森東小学校が身近な風景として描かれています。素直な明るいタッチで、しかもいきいきと表現されています。高森町のいびきを感じさせる作品です。
（高森東小学校の建物が、9月14日県産材需要拡大県民運動会議の席上で、県森林組合連合会賞を受賞しました。）



3年生

嶋田 富貴さん

モチーフ



〔森先生から〕

いつも見慣れた何でもないようなものを組み合わせてモチーフにし、それを中心に構成した作品です。愛情のこもった、しっかりした丁寧な表現がなされ、静かな雰囲気の中に温かさと強さを感じる、良い作品だと思います。

Editorial

編集後記

町敬老会 お元気なお顔がそろいました

敬老会取材しながら、皆さんの肌艶の良さを感じました。「お元気ですね」と声をかけさせていたと「なんのなんの、足腰が弱ったバイ」と言われながらも、満面に微笑みを浮かべて明るく応えていただきました。みなさんの笑顔とパワー

町の移動図書



町の移動図書の巡回があります。ご利用ください。

十月十七日（火）	
草部出張所	10時～10時半
J A 草北	11時～11時半
野尻出張所	13時～13時半
J A 河原	14時～14時半
十月十八日（水）	
J A 色見	10時～10時半
J A 上色見	10時半～11時
横町A団地	13時～13時半
下町公民館	13時半～14時
須坂団地	14時～14時半

古い写真お貸しください

また、町の古い時代の写真を掲載する別企画も考えています。街並みや風景、大切な行事、出来事など、昔の写真をお持ちでしたらご連絡ください。写真からその時代を様々な角度から検証、考察し、これからの町発展の参考にもつなげていく企画にしたいと思っています。よろしく願います。

家庭教育と国際交流のページはお休みします。

1に力づけられる気がしました。これからお元気な高森町をお導きください。
戦後50年特集への情報提供ありがとうございます

金婚ご夫婦表彰

おめでとうございます

次の12組のご夫婦が熊本日日新聞社から結婚50年の表彰を受けられ、町から表彰状を伝達しました。



竹原 明さん (78)
紀子さん (70)
(高森・昭和)



馬原 守雄さん (93)
アエ子さん (79)
(高森・上町)



宇藤 義徳さん (75)
フミ子さん (70)
(高森・冬野)



山田 保貴さん (76)
スミさん (70)
(高森・森)



後藤 貞雄さん (67)
幸子さん (67)
(永野原・大仲野)



櫛木野幸男さん (67)
ソエさん (65)
(上色見・中野)



島田 幾一さん (81)
タキさん (70)
(高森・下町)



桐原 乙雄さん (81)
ツユさん (73)
(高森・下町)



瀬井 二男さん (83)
ハツヨさん (74)
(尾下・牧戸)



熊谷 傳さん (74)
マルエさん (74)
(野尻・川上)



甲斐 勝さん (82)
エミ子さん (71)
(津留・永野)



野尻 一義さん (78)
ケサエさん (77)
(津留・中江)

「収穫品」の一部

この日収集したゴミや空き缶は軽トラックいっぱいになりました。「自分の目の前がきれいになればそれで良い」という考えはみんなであらためましょう。



8月30日午前8時半から、老人クラブ連合会（会長岩下信夫氏 20団体会員1200人）の役員のみなさんが高森温泉館とその周辺の国道でゴミや空き缶拾いのボランティア活動を行いました。参加した皆さんは「取っても取ってもなくなりません。車からのポイ捨ては危険ですし、今の子どもたちにも良い事と悪い事をしっかり教えて欲しいです。皆さんのモラルに期待したいですね。」と話されていました。

老人クラブ連合会 温泉館や国道を清掃奉仕

社会福祉協議会だより

色見地区敬老会では69名のご長寿を祝って



色見小学校体育館で行われた敬老会風景。今年も元気なお顔がそろいました。

敬老会日程
▼九月十三日午前十一時 河原老人憩いの家
▼同日正午 旧草部北部小体育館
▼同日午前十一時 高森中学校体育館
▼同日午後一時 色見小体育館



色見保育園園児が歌や踊りを披露しておじいちゃん、おばあちゃん達を喜ばせました。



みんなで考え
支えよう

高齢社会

いつまでもお元気で

8会場で敬老会を開催

八百六十名のご長寿を祝う

お年寄りのご苦労に感謝し、長寿を祝う高森町敬老会が、校区婦人会や各地区の皆様の協力により今年も九月十三日から十五日までの三日間、各地区で盛大に開催されました。今年の敬老者は七十四歳が百十九名、七十五歳以上八十八歳未満が六百十九名、八十八歳以上八十四名の計八百二十二名と金婚（結婚五十年目）十二組、ダイヤモンド婚（結婚六十年目）七組のご夫婦合わせて八百六十名でした。各地区で開かれた敬老会では元気なお顔で敬老者が出席。今村町長やご来賓からの祝辞があり、敬老年金と記念品の贈呈そして熊本日日新聞社からの金婚ご夫婦の表彰状伝達などがあり、祝宴では各保育園や校区婦人会の方々の歌や踊りを楽しみました。

森	村	後	本	甲	脇	渡	七組を表彰（結婚60年目）
治房さん (81)	上磨さん (85)	藤 豊さん (84)	田 磨さん (80)	斐 光義さん (89)	坂 一義さん (82)	辺 幸雄さん (84)	ダイヤモンド婚ご夫婦
リヨさん (79)	色見	上色見	上色見	高森	高森	高森	

今年のダイヤモンド婚表彰は次の方々が受けられました。おめでとうございます。いま。本にありがとうござい。敬。益々。り。老。き。活。目。長。策。



だれもが 読める
担当の鶴本市朗先生（左）と川上恵先生 ☎2-0185

熊本県立高森高等学校（島田幹雄校長 生徒数三百四十名）の図書館が広く一般に開放されることになりました。これは学校を地域に開放することにより、利用される方の学習と地域文化の向上はもとより、生徒たちとの交流の中から学校教育と地域や社会教育との融和により、次代を担う生徒達の健全育成をも図ろうとするもので、県内でも数少ない取り組みの一つです。同校はこれまでも町のみなさんを対象としたパソコン教室なども開講されており、地域の文化と学習面での向上に大きく貢献されています。「秋の夜長」を讀書で過ごし、「生涯学習」をすすめてみませんか？利用方法は次のとおりです。大切な本です。丁寧に扱い、返却日の厳守など、利用は正しく行いましょう。



- ★開館日 月曜日から金曜日（祝祭日を除く）
- ★開館時間 午前9時から12時 午後1時半から4時半まで（夜間の利用はご相談ください。）
- ★貸出冊数 一人5冊まで ★貸出期間 2週間
- ★貸出希望は館外利用証を作成します。住所、氏名が確認できるもの（運転免許証・健康保険証など）を持参してください。
- ★利用は正しく、人の迷惑にならないようにお願いします。

食欲の秋 Cooking

『これくらい』ではいけません

食品の分量について考える…特に塩と砂糖の加減に要注意



中華風ちまき 献立表（4人分）

もち米 3カップ、サラダ油 大さじ2、干し椎茸 4枚、豚肉 160g、ゆで竹の子 100g、人参 2分の1本、干しエビ 大さじ2、グリーンピース 大さじ2、スープ 2カップ、醤油 大さじ2、塩 小さじ1、酒 大さじ2、砂糖 小さじ2

作り方 ①もち米はといで、2時間以上水につけておく。作る30分前にザルにあげる。②干し椎茸は水にもどし、豚肉、竹の子、人参は大きさを揃えて切る。③干しエビはぬるま湯でもどし、スープと調味料を合わせておく。④中華鍋に油を熱し、②の具を炒め、スープを入れてひと煮立ちしたら、もち米、干しエビを入れて汁が無くなるまで炒める。グリーンピースも入れる。⑤丁寧に炒め、鍋底に米がくっつきはじいたら火を止める。⑥アルミホイルに8等分して包み、両端をひねる。湯気が上がった蒸し器で強火で25～30分蒸す。熱が通る様に竹串で2～3箇所穴を開けると良い。



料理を作る際、材料や調味料をいかに計るのは面倒なので、ついつい分量での調理になりがちです。特に塩や砂糖、油については取りすぎが高血圧や肥満など、健康を悪くする原因に直ぐに結びつきます。慣れによる調理での危険性は長期に続くことにもなりますので、食品の分量については、その重要性を認識することは大切なことです。九月二十二日に行われた町のいきいき健康教室で、この点に重点を置いた研修が行われ、研修に参加された皆さんは、目分量と実際に計った量との違いにあらためて驚いていました。

高森高校図書館一般開放



読書の秋

Read Books

蔵書数 14,000冊

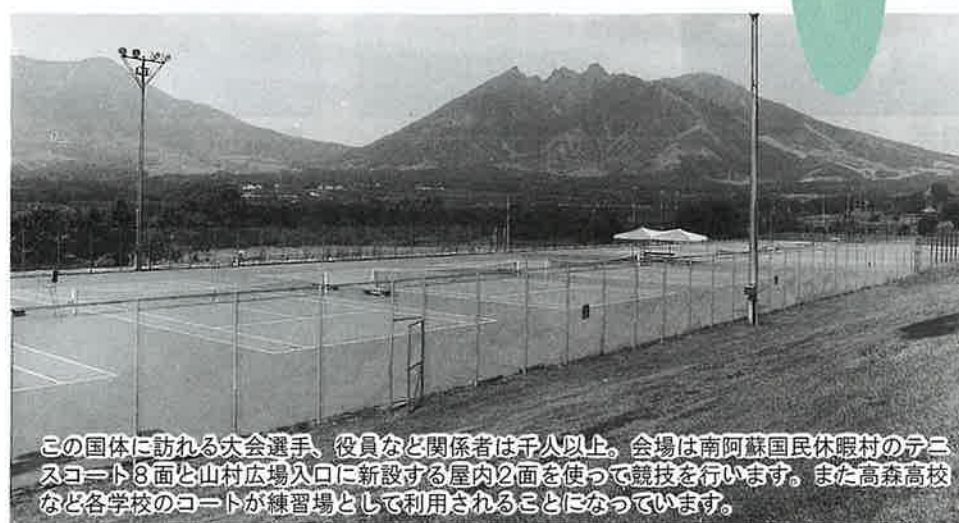
歴史、地理、科学、文学などはもちろん、絵本、家庭教育、料理、健康の各分野の他、雑誌もあります。「皆さんの本のリクエスト」もお気軽にどうぞとのことでした。

1999『たかもり国体』に向けて

町民一人ひとりの英知と力を結集して

スポーツの秋 Sports

大会までの主なスケジュール
一九九六 大会に向けての住民懇談会や大会実行委員会設立と施設面を整備。
一九九六 全国医師会対抗テニス大会
一九九八 都市対抗大会（フレイベント）
一九九八 国体の約二ヶ月前にデモスポートレシーションを開催



この国体に訪れる大会選手、役員など関係者は千人以上。会場は南阿蘇国民休暇村のテニスコート8面と山村広場入口に新設する屋内2面を使って競技を行います。また高森高校など各学校のコートが練習場として利用されることになっています。

国体めざして 本格的に始動
一九九九年（平成十一年）秋、熊本国体が開催され、本町と久木野でもテニス競技が行われます。郡内では他に阿蘇町が空手競技、長陽がフェンシング競技、小国ではホッケー競技がそれぞれ行われることになっています。これは大会の成功を目指すことはもとより、高度情報化、国際化、高齢化という新世紀の流れにふさわしい「人づくり・まちづくり」を目的に行われるもので、町ではこの成功に向けて本格的な取り組みを開始しました。この開催にあたっては運営面はもちろん、受け入れや環境美化・整備など、町民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。町では各分野やあらゆる方面の方々の英知と総力を結集して、目に見える施設面の充実だけでなく、事前からの取り組みが大会後も高森の「まちづくり」に活かすことができるように、実行委員会の設立など、今後色々と準備を進めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

第3回町議会定例会



Minutes from
town assembly meeting

一般会計補正予算

一億六千二百六十一万
二千元を増額補正

平成七年度一般会計歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億六千二百六十一万二千元を追加し、歳入歳出予算の総額を四十八億八千二百六十一万二千元としました。これは農地費として、村中地区水環境整備事業工事請負費に二千万円、県営事業負担金に二千四百四万五千円の他、公共土木施設災害復旧事業の多々野・札幌線等工事請負費として六千五百四十八万八千円、農地等災害復旧事業の上津留地区他七件の工事請負費が一千万五千七百円計上されたことなどによるものです。

特別会計補正予算

一般会計補正予算、
平成六年度決算認定
などを可決

■国民健康保険特別会計

六千二百六十四万一千円増額補正して、予算総額を一億八千二百六十七万二千元としました。

■簡易水道事業特別会計

二百六十七万三千円増額補正して予算総額を一億八千二百七十九万二千元としました。

■高森町農業用水供給事業特別会計
五百六十五万五千円増額補正して、予算総額を三千九百六十八万一千円としました。

平成六年度決算認定

■平成六年度の各会計歳入歳出決算が認定されました。

一 般 会 計

歳入合計 六十億二千七百九十八万六千五百三十八円
歳出合計 五十九億九百三十七万七千円

(来月号に詳細を掲載します。)

その他可決されたもの

■高森町監査委員山村紘司氏任期満了による退任にともない、本多典生氏(大字中)の後任選任が同意されました。

■教育委員会委員児玉光則氏再任が同意されました。

■政治倫理の確立のための高森町長の資産等の公開に関する条例が制定されました。

■観光の振興、地域の活性化及び文化の高揚を図るための高森町公園野外ステージ設置条例が制定されました。

■水に関する知識の普及啓発、住民の憩いと交流の場並びに観光振興を目的とした、高森町湧水館設置条例が制定されました。(オープンはありません。)

■精神保健法の一部改正(精神障害者保健福祉手帳の交付)が行われたことにより、町の税条例(軽自動車税)に関係

する項目が改正されました。

■高森町手数料条例の一部が改正されました。これにより租税、公課に関する証明手数料がこれまで税目毎に百円であったものが、税目の数に係らず一律二百円となります。

■高森町老人家庭奉仕員派遣事業負担金徴収基準の一部が改正されました。これにより、生計中心者の前年所得税課税年額が十四万円を超える場合、これまでの九百円の負担金が九百十円となります。

■収入役を置かないことに関する条例が廃止されました。

議員提出議案

次の意見書を国・県等の関係機関に提出することになりました。

□道路予算拡大に関する意見書

□核実験禁止・核兵器廃絶を求める意見書

□義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

11月9日は「119番」の日です

通報は あわてず 落ち着いて

119番を正しく使ってもらおうと「119番の日」が定められています。火事や救急が発生したら局番なしの119をダイヤルしていただければ阿蘇町にある消防本部につながります。詳しい場所と状況を落ちついてお話しください。

阿蘇広域行政消防本部 南部分署 ☎2・9034



消防署だより
消防なんでも南部分署

交通安全
Traffic
Safety

激増！お年寄りの事故

交通死亡事故の増加率が全国一という熊本県。九月現在で、県内では七千件の交通事故が発生し、死者が百二十名、傷者九千人以上にも達しています。特にお年寄りの事故の増加が激しく、警察と自治体ではその対策に全力をあげているところです。

九月二十二日、午前十時から林業総合センターにおいてお年寄りを対象とした「交通安全学級」が開催され、高森警察署管内の本町を含む五カ町村から約三百人の皆さんが受講しました。



この交通安全学級は阿蘇南部地区交通安全協会の主催により行われたもので、浄念寺住職城孝澄さんの講演がありました。城さんは「誰でも老いることを避けることはできません。老化現象ももちろんですが、人間『我』を捨てるのが大切です。生命はかけがえないもの。健康で前向きに生きることを真剣に考えましょう。」と日頃の生活の充実と交通安全に気をつけることを強調されていました。

もちろん、お年寄りに限らず、私たちは交通事故を起こさないよう、事故に遭わないように気をつけたいものです。



交通安全功労者表彰を受けた皆さん。
写真左から馬原孝一さん(上町) 村上正誠さん(上町) 大塚弘倫さん(下町)

町の交通指導員を十二年以上つとめられた三名の方々が、町の交通安全推進協議会から交通安全功労者として表彰されました。

交通安全功労者表彰



9月28日、午後から豆塚前で町議会議員さんたちの街頭キャンペーンが行われ、通りかかる車に交通安全を呼びかけました。

交通安全キャンペーン

連携と協力で町を守ります

高森町消防団 技術訓練

救急法も研修



本誌8月号10ページでもお知らせしたとおり、救急法を知る事は大切なことです。



悲しみを胸に 50年



この写真は谷川さんが佐世保相の浦海兵団に入隊した17歳の時に撮影し、もう二度と故郷の土を踏むことはないだろうと家に送ったもの。「この写真は撃沈されたときの遺影という気がします。このおかげで助かったのかもしれませんがね」と話されていました。

軍隊生活

いよいよ九州内の海軍志願兵が必ず最初に入隊するという佐世保相の浦海兵団に入隊して三ヶ月の基礎訓練を受けて九月一日、防府の海軍通信学校に入校。通信兵としての専門的な訓練を受け、三ヶ月後に佐世保に戻って海軍鎮守府通信課に配属され、私の本物の軍隊生活が始まったのです。

撃沈され海を漂う

昭和二十年三月六日上海海軍航空隊に配属となるや、翌日の三月七日、機雷を敷設する海防艦（乗組員百人）にて済州島付近を航行中、真夜中に敵艦艇の魚雷を受け、艦は瞬く間に沈没、かろうじて脱出した私は爆発による破片を腹部に受ける重傷を負っていました。痛みと海水の冷たさで気を失っていたと思われ、気が付いたときは済州島の漁船に助けられて砂浜に寝かされていました。漁民の方々は砂浜で火を焚き体を温めたり、温かい食べ物を口に入れてくれたりと親切にしていたいただきました。この時の生存者は私を含めた八名の八名。この後佐世保の海軍病院で腹部から

平和への更なる誓いを胸にして

平和な日本をつくります



谷川 市次さん
(68歳 旭通)

純粹に国を思う気持ちで戦火に散り、冷たい海に沈んだ英霊よ。今もあなたたちの声が聞こえます。

その苦しさや悲しさに報い、尊いたくさんの方々の命の分まで郷土に、社会に奉仕することを誓います。

英霊よ安らかに眠りください。二度と再び戦火にまみえる時代が来ないように、平和な日本をつくります。

特集 戦後50年

今年、第二次世界大戦が終結して五十年目を迎えました。節目としての戦後五十年にあたり、戦争の悲惨さを見つめ、平和の尊さを考えようと、先月号から特集を掲載しています。今回は志願兵として出征された谷川市次さんの戦争中のたくさんの過酷な体験の中から、その一部をまとめてみました。

谷川さんは、若い人たちに戦争時の話をたくさん聞いてもらい、戦争と平和について真剣に考えて欲しいと話されていました。

なお、この記事は来年三月号まで続けて企画掲載致します。戦争に関わる戦前、戦中、戦後の写真やエピソードがありましたら、ご連絡ください。

海軍に志願

私は昭和十九年五月二十五日、志願兵として佐世保相の浦海兵団に十七歳で入隊しました。この頃二十歳になると役場の兵事係と熊本の第六師団の徴兵検査官が来町して徴兵検査が行われており、私はその検査官に知り合いを通して十六歳の時に志願を申し出ました。この時の気持ちは、日本を守りたい。父母や郷土を守りたい気持ちの純粹な愛国心に燃えていました。

出征は高森駅で多くの人に見送られ、「滅私奉公」一心の勇ましい気持ちで出征しました。この時は私よりも年下の志願兵四人と一緒に。未成年でもあり、母と親戚の者と一緒に佐世保へと向かいました。

父母の心

この時のことを後で思うと、父母の気持ちは名誉あるわが子の出征を誇らしく思う気持ちよりも、行かせたくないという子を思う親の気持ちの方が強かったらうと思います。血気盛んなこの時の私には、そんな親の心を計り知ることではできませんでした。

英霊に誓う

四つの金属破片の摘出手術を受け、治る間もなく四月十五日、上海海軍航空隊に転属して終戦はここで迎え、奇しくも負傷した日と同じ昭和二十一年三月七日、上海から舞鶴への復員船に乗り、無事復員することができました。助かったこの時のことが後の私の生き方に大きな影響を与えました。

残してきた家族に再び会うこともできず、東シナ海に散った戦友たちに報いるためには、そのたくさんの尊い命の分まで地域や社会に貢献しようと思ひました。

そして戦争は絶対あつてはなりません。戦争が生み出すものは悲しみと苦しみ以外の何物でもないと思います。

今の若い人たちには、五十年前の日本に戦争という「やむに止まれぬ」緊迫した状況があり、青春を謳歌する間もなく国を守らうとする一心で、戦火に散った人たちがいたことを直視し、その人たちが現在の平和な日本発展の礎となつたこと、そして平和の大切さについて、真剣に考えていただきたいと思います。

引揚者の皆様へ

調べていただきたいこと

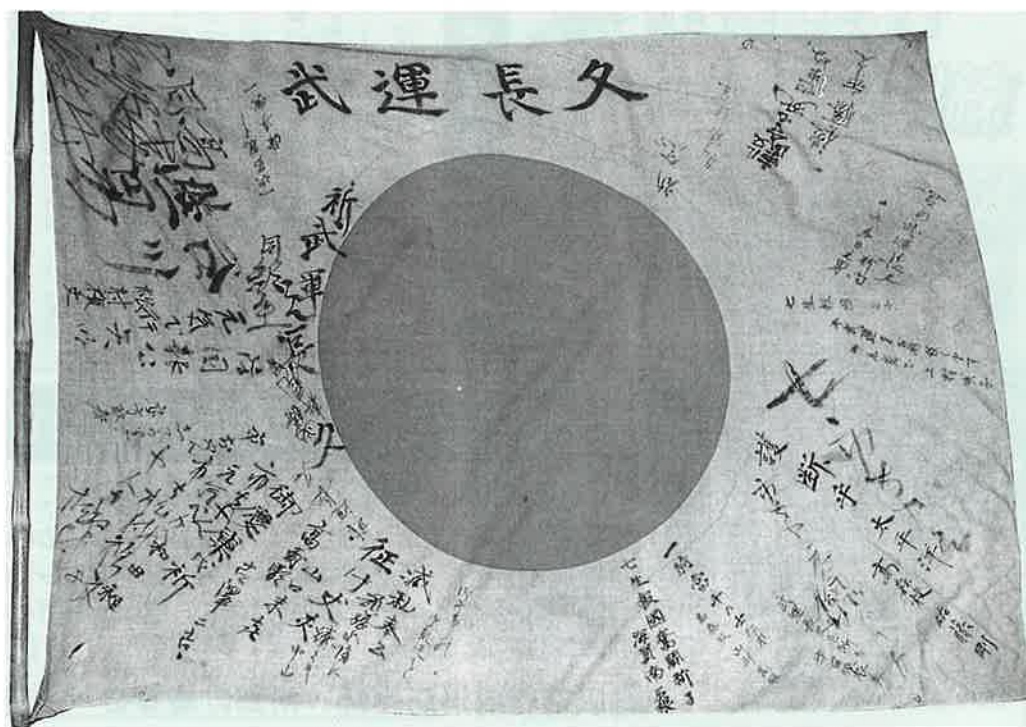
- 一、外地居住地 二、上陸港または物件寄託地
- 三、寄託者のお名前、生年月日 四、税関（または海運局）の保管証の有無（有る場合は保管証番号） 五、外地で寄託されたときの預かり証

問い合わせ先

- 八代税関支署**
☎ 866 八代市港町一三九 八代港湾合同庁舎
☎ 0965・37・1603
- 八代税関支署熊本出張所**
☎ 862 熊本市大江三丁目一番五十三号
熊本第二合同庁舎
☎ 096・362・0822
- 八代税関支署三角出張所**
☎ 869・32 宇土郡三角町大字三角浦一六〇の二〇 三角港湾合同庁舎
☎ 0964・52・3100
- ◎不明な点や、これ以外の税関場所についても、お気軽におたずねください。

日の丸の寄せ書きと千人針で無事帰還を祈る

出征兵士の無事を祈って町に残る人たちは、心を込めてこの日の丸の寄せ書きや、千人針を作りました。肌身離さず持つていて、厳しい戦地の生活での慰めと力付けになったことでしょう。



町の次代を担う青年たち 北海道で研修

南阿蘇六力町村が一体となり、九月一日から八日まで勤労青年団の北海道研修が行われました。この研修は今年で二十一年目。今までの交流を活かしながら、互いに「ノウハウ」を学び合い、「自分自身の高まり」と町発展のために活かしていこうというものです。



葛城 和美さん
(高森・横町)

民泊して北海道の
大きさと優しさを体験

生まれて初めて北海道で七日泊八日(民泊は三泊四日)の研修を行いました。

私たちの住む熊本と北海道の民泊先である十勝地区鹿追町との違いをいくつか見つけました。最初に目についたのは下向きの矢印の道路標識。不思議に思い尋ねると、降雪で道が分からなくなるのでその目印とのこと。また降雪避けに壁のようなものを道路脇に設置するとも聞きました。

寒くなると食卓の醤油も凍るそう。冷蔵庫に入れると聞いて驚きました。

今回の研修では残念ながらジャガイモ掘りや乳しぼりではできなかったのですが、温めたしぼりたての牛乳とジャガイモの味は忘れられません。しぼりたての牛乳は脂肪分が多く、すぐに膜が張りました。

民泊最後の日には然別湖(しかりべつ)で初めてのカヌー乗りに挑戦しました。体に力が入り、なかなかまっすぐ進むことができませんでした。

民泊でお世話になった皆さんはもちろん、たくさんの方々にとっても親切にしてください。終わってみると三泊四日は短く感じられ、お別れするときには涙が出てきました。

この実際の体験を町のあらゆるところで活かしていきたいと強く感じました。

鹿追町紹介

「広報しかおい」七月号から要約して転載

世帯数二千二百戸、人口六千三百人の鹿追町。主な産業は畜産と農業です。六月二十五日、大草原を駆けめぐる「ボーストレッキング・in・しかおい」が開催され、北海道各地から七十人が参加して盛大に行われました。

これは十四日の山や川を越えるコース上で乗馬オリエンテーリングを競うもので、乗馬体験コーナーや野外コンサートもあり、二千人の一般観客も楽しい一日を過ごしました。

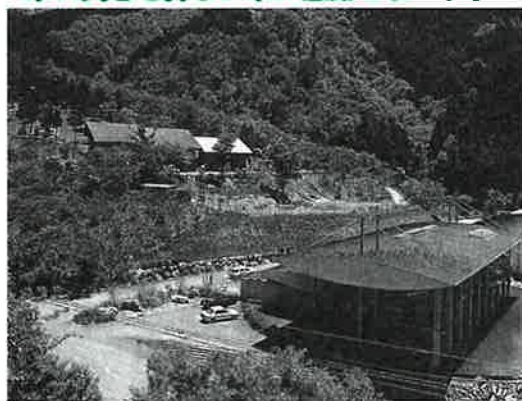


今年も「水のサミット」開催される

Water Conservation

第8回全国分水嶺(界)サミット 高知県 梶原町 8月28~29日

水に関心を持ち、水に感謝しましょう



梶原町は高知市から西に80kmの四万十川の源流に位置し、人口約4,800人、総面積は、238.51km²で主な産業は高冷地野菜、酪農、稲作、林業が中心の町。

山々の尾根を流れ下る水はやがてまとまり、上流域から下流域まで飲料水や農業用水などに利用され、人や動植物にはなくてはならないものになります。その「水の源」ともいえる分水嶺を有する私たちの町など全国五百の分水嶺市町村は下流域の人々のためにも自然を守り、環境や水質の保全を図らなければならないという水源地域としての重大な責任があります。

一昨年本町で開催された第6回分水嶺サミット、今年は高知県高岡郡梶原町(ゆすはらまち)で全国からたくさんの人を集めて盛大に開催されました。これは分水嶺を有する市町村が年一回集まって上流域の役割と責任や下流域に望むことと交流の必要性、また私たち水源地域の文化や歴史と伝統を認識して振興を図ることを話し合い、常に水と自然の大切さを考えていこうと開催されてきたものです。今年のテーマは「分水嶺から共生を考える」で、まさしく水を大切に共々生きることに認識を深める大会となりました。来年は岡山県八束村で開催されます。

林業ニュース

Forestry News

間伐の
すすめ



復層林施業状況 町有林今村団地

円高による輸入材優位と国産材供給過剰による価格低迷が林業離れと労働力不足に結びついている傾向は全国的に依然として続き、なかなか進まない森林整備の打開のため、国、県、町では林業の振興に全力をあげているところです。「間伐など森林施業には手出しの費用がかかる」と言われていますが、山の場所や日照、地力の違いもありますので、充分採算が合う場合もあり一概には言えないところで、資産としての山の価値を下げないためにも、適時、適切な森林の手入れを行うことは大切なことです。

間伐の方法は樹種、生産目標などの違いにより異なってきますが、不良木を除去する十二年生までの除伐後に、通常十五年生前後の樹間が混みあつてきた頃に病虫害、衰弱、損傷、曲がり、傾斜木を中心に一回目として間伐します。二回目以降は森林所有者の生産目標により適時行われます。間伐を必要とする時期までは補助金の有効利用などにより、個人的負担を極力少なくして、「将来のために手をかける」ことは大切なことです。森林施業の方法などを含めて、間伐のご相談はお気軽に役場の林業振興係または高森町森林組合にお尋ねください。

高森町役場 林業振興係
☎二一〇一一 内線一二五番
高森町森林組合
☎二一〇七六九

農業ニュース

Agriculture News

たばこ耕作者大会

本町の葉タバコ生産を取り巻く環境は、他の作物と同じように天候と市場の動きに左右され、農業後継者の減少と近年の禁煙ブームによる影響など依然厳しい状況にあります。本町の葉タバコ生産はこれまで長い間において、郡内では最上位。県内でも常に10位前後にランクされるなど、本町産業の中でも優位の産業として発展してきました。

今後も各農家の努力や関係機関の支援によって葉タバコの振興を図ろうと9月19日、林業総合センターで高森町たばこ耕作者大会が開催され、農協中央会参与の水間健志氏の「農業、農村の変貌と新たな展開」と題した講演が行われ、「葉タバコ生産に限らず新世紀に生きる農業には、先を見通す先見性と、物事の本質を見きわめる洞察力が大切である」と強調されていました。また昼食時にはカラオケ、舞踊など、耕作者の皆さんの楽しいアトラクションと品評会審査もありました。

品評会 審査結果

- 特賞 後藤進昭(芹口)、住吉義隆(色見)
- 優賞 岡本和雄(芹口)、本田利直(矢津田)、甲斐誠也(尾下)
- 良賞 後藤初男(芹口)、野尻勝秀(野尻)、古沢信幸(尾下)、野尻範仁(津留)、本田一庫(矢津田)



第6回 高森寮ふくし祭

『人の和・地域の和』で盛大に開催

当初開催日の9月24日が台風の影響で延期された10月1日、高森寮（川口泰量寮長 入寮者50名）で「福祉まつり」が行われました。この日も秋雨前線の影響による曇天の中にも、町内外からたくさんの方がつめかけ賑わっていました。これは寮のみなさんと地域やご家族の交流を目的としたもので、毎年好評の食べ物バザーや葛工房、粘土などの手作り体験コーナー、パン、お菓子など手作り実演コーナー、また、家庭で眠っている品々のフリーマーケットコーナーなどたくさんの企画があり、地元婦人会や高森高校がボランティア部（30名）など、たくさんの「人と地域の和」によるボランティア協力により盛大に開催され、寮の皆さんも楽しい一日を過ごしました。



かすね工芸などの手作り体験コーナー

生態系破壊・花粉症のもと
オオブタクサ撲滅にご協力を

杉の花粉よりも花粉症の方に悪い影響を及ぼすと言われるオオブタクサが本町でも確認されました。これは北アメリカ原産のキク科の一年草で、種子がその場所に落ちて翌年に生えるなど繁殖力が強く、他の植物の生態系にも悪い影響を及ぼす危険性があります。

高森町商工観光課・阿蘇郡自然公園指導員連絡会

掌状の葉は三つ五に分かれており、柄にトゲがあるのが特に特徴で、荒地や排水溝に多く生息しています。既に花粉が散乱していますので、見かけられたら撲滅にご協力をお願いします。



上色見の社会人バンド「フー・マール・フォー・エバー」と町商工青年部が協力し合って自主イベントを開催しました。これは八月号でお知らせした宝くじ益金の助成を受けて整備した音響機器を町の様々な分野にも有効利用してもらいたいとの披露の意味と、多くの人に秋の夜を音楽と夜市で楽しんでもらおうと企画されたものです。この催しには、同じく社会奉仕活動に取り組んでいる蘇陽のアルビレオや阿蘇町のアソビ隊の社会人バンドの賛助出演もあり、観客の皆さんは三つのバンドの演奏と夜市で楽しい時を過ごしました。

9/15

『まじおじ』の自主イベント開催

高森駅公園 野外ステージ

お母さんと
いっしょ

大字上色見 洗川 父・後藤 保幸さん
母・ちづさん
ちぐさちゃん（三歳一カ月）
優 也ちゃん（九カ月）



お母さんから

この子たちの姉（小一）とままごと遊びなどをして、いつも仲良く、元気に遊んでいます。みんなが家事も手伝ってくれます。私が農作業の時は子育てを父母が助けてくれますので本当に感謝しています。子どもたちの優しい心を育てるには家族の力はなくてはならないものです。

子育てのモットー

（こんな子どもになって欲しい）
これからも「明るい家庭づくり」に心がけて、人に迷惑をかけない、人のことを思いやる優しい心を育てよう頑張ります。

このコーナーでは次の募集を行っています。（町内在住者に限る）
「おかあさん（おとうさん・おじいちゃん・おばあちゃん）といっしょ」
子育ての難しさ、楽しさなどを語ってください。
「燃える若きやもん」熱意を持って仕事・学業に励んでいる若い方。
「動物は友だち」動物大好き人間大集合。その他、「何でもあり！」の広報たかもり。
応募ください。 ☎ 2・1111 広報担当 岩下

A mother and
her Children

肥後狂句

葉月

（阿蘇御神火会）

Poetry
Page

見込まれて 引越し時の馬鹿力
見込まれて 男にもある玉の輿
手の上がり 対で親父と握る駒
手の上がり 檀家廻りもする小僧
罪な人 映画とデイナーだけでした
ほっと一息 こまごつの出る子の病
手の上がり 姑も替る手打ち蕎麦
罪な人 霧笛と消えてはってかす
野心家 媽より保険好いとらす
手の上がり 襲名の日も近かるう

俳句

（高森菜の花句会）

秋愁や読みさしの本閉じしまま
庭に出て洗い髪梳く月今宵
さるすべり花のすぎたる田楽屋
孫からの文読み返す夜長かな
稲熟れて阿蘇も奥なる道しるべ
蔓珠沙華辞書で確かむ事多く
移りゆく季節先どり阿蘇の秋
御成り跡偲ぶほとりのおもひ草
コスモスの咲き競い合う園広し
灯火を散らし寄せ来る秋の潮
運動会我が子の演技よく見えて
瑠璃色の一望千里の阿蘇の秋

弥永 ふき
内田 フミ
吉井千恵子
桐原 寿
山村ふみ子
林 久恵
古庄 泰子
平田り子
馬原 要子
岩下 扶美
渡辺 恵
勝木 良子

熊川 豊泉
田上黙公子
林 不忘
堀田 蘇仙
馬原 馬笑
岡本 琴司
林田 一声
渡辺 雲海
浦塚 南天
松野 笑声

アイラブユーちゃん

浜本ひろし



法律相談（無料）

本町出身の弁護士、津留清さんによる法律相談 十一月十八日（土）午後一時から三時 高森町中央公民館

南鉄サロン

鉄道の日記念

■写真コンテスト作品募集
わが国の鉄道は、明治五年（一八七二年）の十月十四日に新橋、横浜間が最初に開通してその歴史を踏み出しました。全国の鉄道ではその日を記念して「鉄道の日」として祝うことにしています。

南阿蘇鉄道においても、今後の一層の発展とその役割についての皆様の理解と関心を持っていただくことを願って、表彰式典や小学校高学年の新型トロッコ列車への体験乗車を、次のとおり写真コンテストを開催しますので、多数応募ください。

コンテスト応募要領

■今年十月以後に撮影した作品（一人二点まで）
□鉄道の日にふさわしい作品
□南阿蘇鉄道と阿蘇を題材にしたもの、□南阿蘇鉄道と客を対象にしたスナップ
■大きさは四切りプリント（W四切可）、リバーサルはプリントで受け付けます。
返送希望者は返送用の切手を同封してください。ただし入賞権は主催者に属します。

旅券法が変わります

旅券法が十一月一日から改正されます。主な改正内容は①有効期間が五年と十年の二種類となること。②子の併記がなくなる。③手数料の額が変わることです。

二十歳未満の方は有効期間が五年のみの申請を、二十歳以上の方は有効期間五年か十年のどちらかのパスポート申請となります。手数料は十年が一万五千元、五年が一万円、十二歳未満は五千円となります。詳しいことは：

熊本労働基準局 096・383・1111

県の最低賃金が改定されました

日 額 四千四百三十円

時 間 額 五百五十五円

この最低賃金額は、産業別最低賃金が適用されないすべての労働者に適用されます。詳しいことは、熊本労働基準局 096・355・3181

青年海外協力隊員募集

番までおたずねください。

青年海外協力隊は、国際協力事業団が実施している政府事業です。開発途上国の人々の新しい国づくりのために、あなたの技術（農林水産、土木建築、保健衛生、教育文化など）を生かし世界へはばたく可能性を試してみませんか。今年は約一千名を募集します。二十歳以上三十九歳までの日本国籍を有する方なら誰でも応募できます。派遣期間は二年間で現地生活費、旅費などの経費は事務局が負担します。また、既婚者については配偶者と子女の現地一時呼び寄せ制度（一回限り。経費一部本人負担）もあります。募集期間は十月十五日から十一月三十日までで、事前に募集説明会が開催されますので、その日時など詳しいことの問い合わせは、国際協力事業団九州支部 092・451・3380番（テレホンサービスは092・413・6211番です。）または、熊本県総務部国際課 096・383・1111 内線3186番までどうぞ。

甲種防火管理者資格取得講習会

阿蘇広域行政事務組合消防本部では、消防法施行令第三十条第一項第一号の規定に基づく、防火管理者資格取得のための講習会を次のとおり実施します。詳しいことのおたずねと申し込み（十月十一日から前日まで。定員六十名になり次第締切）は、消防本部予防課 096・32・0024までどうぞ。

講習日時 十一月九日（木）と十日（金）の午前九時から午後四時半までの二日間。

講習会場 阿蘇町大字黒川一四二三の一消防本部会議室

行政書士による無料相談実施します

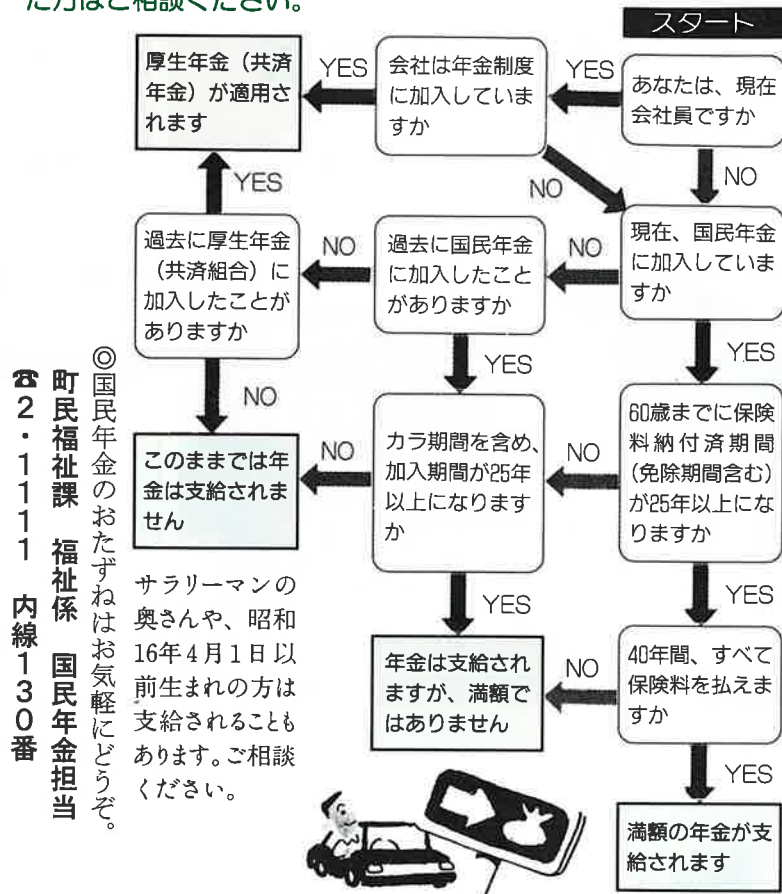
十月は行政書士制度の強調月間。次のとおり相談をお受けしますのでご利用ください。行政書士街頭無料相談会 平成七年十月十二日（木）十時から十六時まで

場所 熊本交通センター地下 観音の泉前広場

詳しいことは熊本県行政書士会 096・385・7300までおたずねください。

国民年金だより

老後の生活をバックアップする国民年金。年金制度の正しい理解は大切なことです。下の表で自分の国民年金を実際にチェックしてみましょう。支給されない、満額もらえないとなつた方はご相談ください。



建築工事での労働災害に注意しましょう

近年、熊本県内の木造家屋建築工事などの死亡災害が増加しており、休業災害の五十％、死亡災害の八十％は墜落によるものです。

作業にあたっては、①足場、手すりなど墜落防止設備の設置 ②ヘルメットの着用 ③建物の組立等作業主任者、足場の組立等作業主任者の選任 ④木材など加工用機械の安全装置の使用に留意し、足場先行工法の採用などにより、安全な施工に心がけましょう。詳しいことは、熊本労働基準局 096・355・3181番までどうぞ。

年金相談

国民年金、厚生年金、社会保険についての相談を受けます。お気軽にご相談ください。

とき 十月二十五日（水）午前十時から午後三時まで。

ところ 林業総合センター二階の会議室

入札結果 五百万円以上

工事名 町道味鳥・多々野線道路舗装工事 □工期 平成七年九月四日から十二月二十日まで。

□金額 一千八百三十三万四千円 □請負者 ㈱草村道路建設工業

□工事名 町道社倉・蔵地線道路改良工事 □工期 平成七年九月十一日から八月三十一日まで

□金額 二千九百四十六万六千円 □請負者 ㈱藤本組

休日 在宅医

10月15日 馬原内科医院 診療は午前

10月22日 東 医 院 9時から午後

10月29日 立野病院 5時まで

11月3日 中村医院

11月5日 寺崎医院

11月12日 南郷谷整形外科

※都合により変更になる場合がありますので、テレホンサービスでお確かめください。②-2222 後5時まで

おめでたおくやみ

(1995. 8月受付分)

赤ちゃんたんじょう



田上 由貴ちゃん 女 父・恵 至さん
(芹 口) 7・30生 母・和 美さん
白石 悠馬ちゃん 男 父・政 雄さん
(河 原) 7・31生 母・博 子さん

すえながくお幸せに

(敬称略)



(松原 敏朗 熊 本 市 8・29
平井 優子 高 森 横 町)

おくやみもうしあげます

(敬称略)



(住所) (御遺族) (続柄) (死亡者) (年齢)
高 森 佐藤 キヌ 夫 佐藤 剛 88
高 森 島田 幹雄 父 島田 甚三 90
永野原 甲斐 友長 妻 甲斐ノブ子 72
津 留 松岡ソノ子 夫 松岡 竹次 68
色 見 岩下 浅雄 母 岩下マツミ 72
下 切 工藤サキ子 母 工藤ハルエ 77

人口の動き

(8月末日現在)

世帯数 2,583 (+8)
男 3,944 (-1)
女 4,215 (+2)
総 数 8,159 (+1)

善意の灯

ありがとうございました(敬称略)

町社会福祉協議会へ

〈香典返し〉佐藤昭也 島田幹雄 工藤サキ子 松岡ソノ子

〈一般寄付〉三森孝志、高森モータース

■広報送料寄付 後藤美代子(横浜市港南区)